

# 学 会 記 事

◎昭和40年度第8回理事会 (41.1.28) 出席者：岡部会長、水野副会長、羽田専務理事、板倉、宇野、内林、春日屋、近藤、多谷、鏡、富所、成岡、藤田、松尾、村上、森垣、八木の各理事および井関監事。議事録署名理事の決定：岡部会長、羽田専務理事、森垣理事。A. 報告事項：つぎの各項につき報告があり了承された：1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会報告。4) 臨時評議員会報告。5) 日本工学会主催8学会懇談会報告。6) 監事武内修氏ご逝去を報告。7) その他。B. 協議事項：1) 田中豊博士記念事業実施について。2) 調査研究の受託について。3) その他。4) 委員委嘱について

① 土木製図規準改訂委員会  
委員長 菊池洋一 名古屋大学工学部  
委員 小池晋 国鉄構造設計事務所  
田村 浩一 “  
阿部 英彦 “  
川崎 五郎 日本交通技術KK  
大字 照一 建設省関東地建東京国道事務所  
玉野 治光 首都高速道路公団工務部  
笛戸 松二 日本道路公団京浜建設局  
地主喜右衛門 KK大林組土木本部  
下石坂克典 KK横河構築製作所  
下川 浩資 建設省道路局國道第二課  
富田 努 建設省土木研究所  
清野 茂次 KKオリンタルコンサルタント  
中村 英夫 東京大学生産技術研究所  
清水 久雄 中日本建設コンサルタントKK  
委員兼幹事 島田 静男 名古屋大学工学部  
中村 良夫 東京大学工学部  
② トンネル土圧調査小委員会  
委員長 村山 朔郎 京都大学工学部  
委員 住友 彰 KK構築コンサルタント  
坂本 貞雄 KK大林組土木本部技術部  
柏谷 逸男 日本鉄道建設公団計画部  
足立 貞彦 日本鉄道建設公団工務第一部  
池原武一郎 国鉄建設局線増課  
吉村 恒 “ 調査課  
伊吹山西郎 建設省土木研究所道路部  
芥川 真知 “ 地質研究室  
森 宜制 労働省産業安全研究所土木課  
山本 稔 東京都立大学工学部  
川本 肇万 名古屋大学工学部  
小田 英一 徳島大学工学部  
田中 治雄 電力中央研究所技術研究所  
田丸陸太郎 KK間組技術局  
宮崎 政三 日本物理探鉱KK地質部  
吉川 新吉 東京電力KK地中線建設所  
高木 薫 KK建設技術社  
松尾 友也 大成建設KK土木本部  
幹事 高橋 彦治 国鉄鉄道技術研究所地質研究室  
今西 誠也 日本道路公団計画部技術課

今田 徹 建設省土木研究所トンネル研究室

③ シールド工法小委員会  
委員兼幹事 小林 幸蔵 大阪市交通局高速鉄道建設部計画課

④ 海岸工学委員会  
委員 田中 一郎 北海道開発局港湾部港湾建設課

◎臨時評議員会 (40.12.18) 出席者：(北海道支部)北郷、(東北支部)原田、(関東支部)三村、内田(弘)、大島、河野、堺、村田、(中部支部)小野、西畠、(関西支部)岡田、巽、赤尾、石田、倉田、丹羽、(西部支部)内田の各評議員、外に委任状46通、理事者側：岡部会長、羽田専務理事。議事：岡部会長挨拶後、監事評議員会開催趣旨を説明の後議長に河野評議員を満場一致で推挙し、議長挨拶のうち議事録署名者に河野議長、大島、村田の両評議員を決定し議事に入る；1) 土木学会規則の一部改正について、羽田専務理事より説明があり、質議応答の結果可決した(改正点は本誌51巻1号1ページ参照)。2) 土木学会役員候補者選考内規の一部改正について。3) その他

## ◎各種委員会

(1) 本州四国耐震設計小委員会第34回幹事会 (40.11.22) 出席者：関係者10名。議事：省略。

(2) 第29回原子力土木技術委員会 (40.11.22) 出席者：左合委員長、ほか14名。議事：1) 原子力発電所敷地選定に関する問題について。2) 第4回原子力総合シンポジウムについて。3) 委員の交代。

(3) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会 軽量コンクリート分科会 (40.11.22) 出席者：国分委員長、ほか11名。議事：人工軽量骨材コンクリート設計施工指針第2次原案の逐条審議を行なった。

(4) 岩盤力学委員会第1分科会 (第17回) (40.11.22) 出席者：井上主査、ほか5名。議事：「岩盤力学」執筆原稿の検討。

(5) 岩盤力学委員会第3分科会 (第17回) (40.11.24) 出席者：藤井主査、ほか7名。議事：「岩盤力学」執筆原稿の検討。

(6) 本州四国第12回上部構造に関する専門部会 (40.11.24) 出席者：関係者36名。議事：省略。

(7) PC工法小委員会 (40.11.24) 出席者：国分委員長、樋口主査、ほか17名。議事：Dywidag工法設計施工指針(案)設計編の逐条審議を行なった。

(8) 本州四国第9回基礎に関する専門部会 (40.11.25) 出席者：関係者33名。

議事：省略。

(9) 第12回土木振動学便覧編集小委員会 (40.11.26) 出席者：大地委員長、ほか5名。議事：1) 「土木技術者のための振動学便覧」の原稿とりまとめについて。2) 今後の予定について。

(10) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会 軽量コンクリート分科会 (40.11.29) 出席者：国分委員長、ほか10名。議事：人工軽量骨材コンクリート設計施工指針の最終原案を作成し無筋委員会に提出することにした。

(11) 第91回耐震工学委員会 (40.11.29) 出席者：那須委員長、岡本副委員長、ほか14名。議事：1) 本州四国耐震設計小委員会について。2) 軟弱地盤耐震設計研究委員会について。3) 土木振動学便覧編集小委員会について。4) 日本地震工学シンポジウム(1966年)について。5) E-E懇談会について。6) 委員の交代。7) その他。

(12) 軟弱地盤耐震設計研究委員会 第5回幹事会 (40.11.30) 出席者：関係者15名。議事：1) 文献紹介。2) 研究項目の検討。3) 次回委員会について。

(13) 論文集委員会各部会 (40.12.2) 出席者：村上、栗津正副委員長、ほか27名。議事：1) 各部会で審査中原稿の審査報告。2) 新規受付原稿審査委員の決定。3) 討議原稿について。4) その他。

(14) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会 (40.12.3) 出席者：国分委員長、樋口主査、ほか29名。議事：1) コンクリート品質に関する分科会報告。2) 軽量コンクリート分科会報告。3) 型わく支保工分科会報告。

(15) 昭和40年度第2回河北潟干拓河口工事研究委員会 (40.12.3) 出席者：福田委員長、ほか20名。議事：1) ウエル堤の構造について。2) 現地標砂実験報告。3) その他現地視察による報告。付：委員会開催に先立ち、現地視察を行なった。

(16) 岩盤力学委員会編集委員会 (40.12.6) 出席者：岡本委員長、駒井幹事長、小林副委員長、ほか9名。議事：「岩盤力学」各章の執筆状況について。2) 各章の問題点。3) 今後の作業予定。

(17) 岩盤力学委員会第3分科会 (第18回) (40.12.6) 出席者：藤井主査、ほか7名。議事：「岩盤力学」執筆原稿の検討。

(18) 国産コンクリート技術開発懇談会 (40.12.6) 出席者：関係者8名。議事：国産技術開発につき懇談を行なった。

(19) PC工法懇談会 (M.D.C.) (40.

12.7) 出席者：国分委員長、河野主査、ほか 8 名。議事：MDC 工法設計施工指針作成に関し懇談会を行なった。

(20) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合会(40.12.7)出席者：関係者 3 名。議事：省略。

(21) 本州四国耐風設計小委員会第 39 回幹事会(40.12.8)出席者：関係者 11 名。議事：省略。

(22) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会型枠支保工に関する打合会(40.12.9)出席者：関係者 2 名。議事：無筋コンクリート標準示方書の型枠支保工の条文改訂につき打合せを行なった。

(23) 岩盤力学委員会第 3 分科会(第 19 回)(40.12.10)出席者：藤井主査、ほか 5 名。議事：「岩盤力学」執筆原稿の検討。

(24) 岩盤力学委員会第 4 分科会(第 16 回)(40.12.10)出席者：色部主査、ほか 5 名。議事：「岩盤力学」執筆原稿の検討。

(25) 本州四国耐震設計小委員会第 35 回幹事会(40.12.11)出席者：関係者 17 名。議事：省略。

(26) 岩盤力学委員会第 3 分科会(第 20 回)(40.12.13)出席者：藤井主査、ほか 7 名。議事：「岩盤力学」執筆原稿の検討。

(27) 新潟震災調査委員会道路部門打合会(40.12.13)出席者：関係者 2 名。議事：「道路編」原稿のとりまとめ。

(28) 第 2 回軟弱地盤耐震設計研究委員会(40.12.14)出席者：岡本委員長、ほか 18 名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 委員の追加について。3) 経過報告。4) 研究項目の検討。

(29) 第 30 回原子力土木技術委員会(40.12.14)出席者：左合委員長、ほか 13 名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 第 4 回原子力総合シンポジウムについて。4) 昭和 40 年度土木学会賞候補推せんについて。

(30) 論文集委員会部長会(40.12.14)出席者：村上委員長、都、池田部会長、ほか 3 名。議事：1) 前回各部会報告。2) 論文集第 126 号および第 127 号登載原稿の決定。3) 討議原稿について。4) その他。

(31) 会誌講座<測定>基礎編打合会(40.12.15)出席者：関係者 5 名。議事：測定基礎編の登載に関しその執筆者、登載順位、内容等について協議、合意をみた。

(32) 本州四国第 23 回耐風設計小委員会(40.12.15)出席者：関係者 22 名。議

事：省略。

(33) P C 工法小委員会(40.12.15)出席者：国分委員長、樋口主査、ほか 16 名。議事：Dywidag 工法設計施工指針(案)第 1 次原稿の最終審議を行なった。

(34) シールド工法小委員会幹事会(40.12.16)出席者：西嶋委員長、遠藤副委員長、ほか 12 名。議事：1) 調査項目とその主な内容について。2) 今後の予定について。

(35) 岩盤力学委員会第 5 分科会(第 10 回)(40.12.17)出席者：高橋主査、ほか 5 名。議事：「岩盤力学」執筆原稿の検討。

(36) 第 92 回耐震工学委員会(40.12.17)出席者：那須委員長、岡本副委員長、ほか 11 名。議事：1) 前回議事録の承認。2) 本四国耐震設計小委員会について。3) 軟弱地盤耐震設計研究委員会について。4) 日本地震工学シンポジウム(1966 年)について。5) EE 懇談会について。6) その他。

(37) 本州四国上部構造に関する専門部会材料調査幹事会(40.12.17)出席者：関係者 23 名。議事：省略。

(38) 会誌編集委員会書評小委員会(40.12.17)出席者：関係者 2 名。議事：会誌 51 卷 2 号登載書評討議。

(39) 会誌編集委員会(40.12.21)出席者：樋口委員長、ほか 16 名。議事：1) 原稿状況報告。2) 小委員会・座談会打合報告。3) 会誌 51 卷 5, 6 号特集について。4) 土木賞いせんについて。5) 懸賞論文、表紙公募について。6) 読者賞について。7) その他。

(40) 太径鉄筋に関する研究小委員会(40.12.22)出席者：国分委員長、ほか 5 名。議事：1) 大型試験用の設計変更および試験日程。2) 大型試験用に鉄筋(デーコン・フジション)の試験結果。3) 太径鉄筋材の疲労試験。4) 太径鉄筋のボンド試験方法。5) その他。

(41) 原子力関係コンクリート小委員会(40.12.22)出席者：国分委員長、ほか 14 名。議事：1) 昭和 39 年度研究報告；a) 実績報告書の説明、b) 各研究担当委員の補足説明、c) 昭和 39 年度研究報告書の作成。2) 昭和 39 年度会計報告。3) 昭和 40 年度研究計画；a) 昭和 40 年度研究計画書、b) 実物大容器の水圧および落下試験、c) 小型容器の水圧試験、d) 容器の防水処理試験、e) 総合研究評価。4) 昭和 40 年度研究予算の配当。

(42) 日本土木史編集委員会(40.12.23)出席者：青木委員長、金子副委員長、

ほか 13 名。議事：1) 経過報告；日本土木史出版完了にともない企画からの諸活動の報告を行なった；a) 委員会活動、b) 編集活動、c) 日本土木史の構成について、d) 出版経費について、e) 販売方法について。2) 昭和 16 年以降の日本土木史の編集について；青木現委員長に引きつき委員長として進めていただけとなり理事会の結果を報告。3) 以上の報告がすみひきづいて出版記念の懇親会を行なった。なお、今回をもって日本土木史一大正元年～昭和 15 年一の編集委員会は解散することになった。昭和 16 年～昭和 40 年の日本土木史編集委員会については後日青木委員長、高橋氏を中心に検討を行なう。

(43) 新潟震災調査委員会道路部門打合会(40.12.23)出席者：関係者 2 名。議事：「道路編」原稿のとりまとめ。

(44) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会型枠支保工に関する分科会(40.12.23)出席者：関係者 6 名。議事：無筋コンクリート標準示方書の型枠支保工の条文について改訂のための審議を行なった。

(45) 本州四国第 10 回耐震設計小委員会(40.12.24)出席者：関係者 36 名。議事：省略。

(46) 岩盤力学委員会第 4 分科会(第 17 回)(40.12.24)出席者：色部主査、ほか 4 名。議事：「岩盤力学」執筆原稿の検討。

(47) 本州四国上部構造に関する専門部会材料調査幹事会打合会(40.12.25)出席者：関係者 8 名。議事：伸び能力調査について打合せた。

(48) 衛生工学委員会(40.12.27)出席者：関係者 12 名。議事：1) 第 11 回太平洋学術会議について。2) トルコ土木技術者会議について。3) 國際水質汚濁研究学会第 3 回会議について。4) 衛生工学研究討論会について。

(49) 岩盤力学委員会第 3 分科会(第 21 回)(40.12.27)出席者：藤井主査、ほか 3 名。議事：「岩盤力学」執筆原稿の検討。

(50) 土木図書館運営委員会打合会(40.12.27)出席者：米元委員長、千秋幹事長。議事：今後の委員会の進め方について打合せを行なった。

(51) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会(41.1.7)出席者：河野主査、ほか 6 名。議事：鉄筋コンクリート標準示方書第 3 次原案の改訂につき打合せを行なった。

(52) 第 4 回出版企画委員会(41.1.

(11) 出席者：森委員長、春日屋副委員長、久保幹事長、ほか 6 名。議事：1) 昭和 40 年度出版物の進捗状況報告。2) 建設年鑑 1966 (仮称)、土木工学叢書、わかり易い土木講座、土木製図規準の改訂、水理実験指導書、教材用土木技術スライドの製作について進捗状況を報告。3) 応用力学公式集 (仮称)、解説水理公式集 (仮称) の出版について検討を行なった。4) 土木学会出版文化賞の設置について検討を行なった。

(53) 文献調査委員会 (41.1.12) 出席者：関係者 19 名。議事：1) 会誌 51 卷 3 号登載抄録について。2) 解説記事について。3) 国際会議論文集の文献目録欄の登載について。4) 外国新刊書選定の件。5) その他。

(54) 岩盤力学委員会第 3 分科会 (第 22 回) (41.1.12~14) 出席者：藤井主査、ほか 5 名。議事：「岩盤力学」原稿のとりまとめについて。

(55) 橋梁構造委員会第 6 回材料分科会 (41.1.13) 出席者：友永主査、ほか 12 名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 溶接構造用圧延鋼材 JIS 修正案について。3) その他。

(56) 会誌編集小委員会 (41.1.14) 出席者：樋口委員長、ほか 6 名。議事：1) 原稿投稿状況報告。2) 40 年学会誌の反省。3) 第 51 卷巻頭論説について。4) その他。

(57) 新潟震災調査委員会 工場災害部門打合会 (41.1.15) 出席者：有賀主査、青木委員。議事：工場災害部門報告書原稿のとりまとめ。

(58) 新潟震災調査委員会 工場災害部門打合会 (41.1.16) 出席者：有賀主査、青木委員。議事：工場災害部門報告書原稿のとりまとめ。

(59) 衛生工学委員会小委員会 (41.1.17) 出席者：関係者 11 名。議事：1) 第 11 回太平洋学術会議について。2) 国際水質汚濁研究学会について。3) 衛生工学研究討論会について。4) 1966 年度学術関係国際会議推せんについて。5) 昭和 40 年度土木学会賞推せんについて。6) その他。

(60) 欠弱地盤耐震設計研究委員会 第 6 回幹事会 (41.1.18) 出席者：関係者 7 名。議事：1) 報告書とりまとめについて。2) 来年度の調査項目について。

(61) 論文集委員会部会長会 (41.1.18) 出席者：村上、栗津正副委員長、ほか 4 名。議事：昭和 40 年度土木賞候補論文について委員会推せんにつき打合せた。

(62) 会誌編集委員会書評小委員会 (41.1.18) 出席者：高橋小委員長、ほか 2 名。議事：1) 前回報告。2) 受付図書の選定。3) 受付もれ図書整理。4) その他。

(63) 第 1 回土木製図基準改訂委員会 (41.1.20) 出席者：菊池委員長、ほか 14 名。議事：1) 委員長挨拶および現在までの経過報告；現在の土木製図基準 (I) 制定より今回の改訂に至るまでの経過を報告。2) 委員会組織および委員会の運営について；委員会は菊池委員長以下 16 名で構成、島田、中村 (良) の両氏を幹事とする、委員会は毎月 1 回開催する。3) 現基準の問題点と改訂の根本方針；JIS の土木製図、製図通則、DAM の土木製図、建設省、道路公団、各コンサルタント、業界の内部での指導書のようなものを次回委員会までに用意し、それによって検討を始める。

(64) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会 (41.1.20) 出席者：河野主査、ほか 8 名。議事：鉄筋コンクリート標準示方書第 3 次原案の改訂につき打合せを行なった。

(65) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会 型枠支保工に関する分科会 (41.1.20) 出席者：関係者 6 名。議事：無筋コンクリート標準示方書の型枠支保工の条文について改訂のための審議を行った。

## ○そ の 他

(1) 第 12 回橋梁・構造工学研究発会 (40.11.26)

場 所：日本建築学会会議室

参 加 者：約 200 名

講 演：17 題

(2) 日本地震工学シンポジウム 第 2 回運営委員会 (40.12.16) 場所：日本建築学会会議室 出席者：武藤委員長、ほか 16 名。議事：1) 第 1 回運営委員会および同幹事会記録について。2) 会場確保に関する事務局の作業の検討。3) 海外関係研究者への英文アナウンス 発送先と発送業務担当について。4) パネル討論会幹事会審議。5) その他。

(3) 日本地震工学シンポジウム 第 2 回幹事会 (40.12.27) 場所：日本建築学会会議室 出席者：関係者 9 名。議事：1) パネル討論会について。2) シンポジウムの会場について。3) その他。

(4) 日本地震工学シンポジウム 第 3 回運営委員会 (41.1.17) 場所：日本建築学会会議室 出席者：武藤委員長、ほか 14 名。議事：1) 第 2 回幹事会報告。2) パネル討論会について。3) 予算について。4) その他。

## 支 部 だ より

### 関 西 支 部

(1) 海外事情講演会 (万国博に関する講演会) (41.1.18, 好文俱楽部)

題目と講師

1. 万国博覧会の経緯とその問題点について  
大阪府万国博覧会準備事務局庶務部長  
福井 晴思

2. ニューヨーク世界博の成果とモントリオール万国博の計画について  
大阪市経済局長  
山口 博恭

代講 日本万国博覧会協会総務部管理課長  
川平恵一郎

3. ニューヨーク世界博と輸送  
京阪神急行電鉄(株)傍系事業室課長  
今村 敏雄

参 加 者：111 名

(2) 会員懇親会 (41.1.18, 好文俱樂部)

参 加 者：62 名 (内招待関係 15 名)

参 加 費：500 円

(3) シールド工法講演会 (41.1.20, 大阪府職員会館)

共 催 土木学会関西支部

日本建設機械化協会関西支部

題目と講師

1. 普通シールド工法について  
大阪市交通局高速鉄道建設本部  
第三建設事務所長  
早木 保則

2. シールド工法におけるライニングについて  
近畿日本鉄道(株)難波線建設工事局  
設計課長  
堺 哲司

3. 機械化シールドについて  
京都大学教授防災研究所  
工博 村山 剛郎

4. セグメントの強度試験について  
大阪市交通局高速鉄道建設本部  
第三建設事務所主査  
小林 幸蔵

5. 関西におけるシールド工事の現状

a. 大阪地下鉄のシールド工事について  
前大阪市交通局高速鉄道建設本部  
建設部長  
岩村 淳

b. 豊中市下水道のシールド工事について  
豊中市第一建設事務所長  
渋谷 四郎

c. 大阪市下水道のシールド工事について  
大阪市土木局下水部建設課長  
谷 和夫

参 加 者：506 名

参 加 費：会員 1000 円、非会員 1200 円

(4) 土木学会賞候補支部 推薦詮衡委員会 (第 2 回) (41.1.13, 土木学会関西支部会議室)

出席者：松尾幹事長、ほか委員 7 名

(5) 第 9 回幹事会 (41.1.13, 土木学会関西支部会議室)

出席者：玉井支部長、松尾幹事長、ほか 11 名。